

(1)「まちづくり基本方針(骨子)」の説明並びに質疑応答

ご説明：日本都市計画家協会 高鍋 様、中川 様

- 添付資料 0:めじろ台まちづくり方針 2021\_修正版.pdf

(中村 4):「まちづくり基本方針(骨子)」の説明に先立って、

- 事前配布資料に対するご指摘を受け、添付資料の一部(10 頁、19 頁、37 頁)に変更がありますので、各自ご確認をお願いします
- 「まちづくり基本方針(骨子)」は、高鍋様と中川様で作成いただいたものであり、高鍋様より説明いただくが、その後、質疑応答をお受けします
- また、後日も意見を収集するために、メールやめじろ台会館で書面での意見箱を設けます  
メールの場合、アドレス:[matidukurimjr@gmail.com](mailto:matidukurimjr@gmail.com)  
書面提出の場合:会館入口廊下に設置のご意見箱に投函願います
- 各町会向けには、回覧・掲示・HPにて内容を発表、メール・書面にてご質問・ご意見・ご提案等をお受けします
- ご質問・ご意見・ご提案等がまとまったところで「まちづくり基本方針」を見直し、より良いものに仕上げます
- 来年4月の各町会通常(定例)総会向けに「まちづくり基本方針」を配布、町会員の皆さまに対し、ご支持・ご同意をお願いします
- **説明の動画は、後日ホームページに掲載します**
  
- 高鍋様よりのご説明は、以下です  
「めじろ台地区まちづくり基本方針」は、全てがまちづくり協議会で検討、立案された内容を集約したものであり、八王子等の行政や京王等の民間企業と連携して、具体案の具現化を進めるためのものです
- (2 頁):“もくじ”のごとく、内容を 7 項目にまとめました
- (4 頁):発足から今日までの経緯と推進体制、主体はめじろ台の住民(町会員・むつみ会員等)、右表の団体・組織が支援、めじろ台に関係のある方は誰でも参加いただける
- (6~8 頁):まちづくり憲章、「多様性への配慮・多世代共存・コミュニケーション・自然・文化・歴史と未来・魅力の創造」の 7 項目からなる
- (9~14 頁):みんなが集まるまちの拠点づくり
- (10 頁):コミュニティセンターとふれあい広場、老朽化した会館を建替え、前庭を広場に隣接する駐車場が活用できる可能性は?
- (11 頁):駅前ショッピングセンター(SC)の活性化、地域住民・周辺住民・観光客が立ち寄る賑わいのある場所に、広場・空き店舗を活用した拠点づくり
- (12 頁):取り組むべき活動を時間・コストで整理し ⇒ コンセプトシート作成
- (13・14 頁):各地域(一丁目~四丁目)の身近な拠点づくり
- (15~19 頁):降りたくなくなる魅力的な駅前づくり、写真は千葉の鎌ヶ谷駅前、管理会社設立
- (16・17 頁):駅前広場の緑化と潤い、駅前広場全体をゾーニング、緑やベンチを増やす
- (18 頁):バリアフリー化
- (19 頁):駅周辺まちづくりの全体像、スクランブル交差点、駅~京王ストアへ直通的横断、

コミュニティセンター+広場、SCの活性化・バリアフリー化、子育て・高齢者支援、高齢者住み替え住宅、ワークスペースなどの活用

- (20～23頁): 多世代が交流する場づくり、交流のきっかけづくり、多世代住居・交流
- (22頁): まちなかベンチ、フレイル対策・予防、見守り・生活相談
- (24～28頁): 空地・空家を活用したにぎわいづくり、活用事例の収集・整理、地域資源図の作成、空き家活用の相談、地区計画の見直し・景観ルールの検討
- (26頁): 空き家・空き地を活用した地域資源化プロジェクト
- (28頁): 地域資源図のイメージ
- (29～34頁): 美しく・住み続けられる住宅地づくり
- (30・31頁): 美しい街並み景観ルールづくり、街並みを悪化させない、緑を増やす
- (32頁): 若い人が住みたくなる住まいの供給、多様な世帯への選択肢の提供
- (33～34頁): 地区計画・用途の見直し・緩和の検討
- (35・36頁): めじろ台の今を発信する、ホームページのリニューアル・SNSの活用
- (37頁): 住民・行政・企業(団体)の協働した取り組みが重要性

#### [質疑応答]

- (Aさん): 「めじろ台地区まちづくり基本方針」のまとめに感謝します  
駅前緑化・景観はかなり具体化もしているため、記述には勢いとインパクトのある表現がほしい
- 具体例の写真については、めじろ台とそれを混在しないよう整理してほしい
- トップページの写真について、めじろ台は高尾山の麓というイメージ、再考してほしい
- 28頁の地域資源図は名案である
- (中村4): 花壇・ベンチのレイアウト検討等が進んでいることは理解していますが、混乱を避けるため情報出しは確定後としたい  
花壇等の維持・管理についても「花壇の会」との間の早急な合意を望みます
- 具体例の写真については、活動の進捗につれてめじろ台のものに差し替えたい
  
- (Bさん): 「街並み景観ルール作り」の中に、「不動産価値の維持と向上」の記述が欲しい
- 「若い人が住みたくなる住まいの供給」の項目には、「学生から子育て世代へのリレーション仕組み作り」を記入、地域の活力となるため、強調してほしい
- (中村4): ご指摘の通りです、問題は住んでもらうための方策がまとまっていないこと  
シェアハウス、ファミリー賃貸等の方策については、今後つめていきたい  
若い世代への取り組みは、簡単ではないが、今後も継続して取り組む
- (高鍋さん): 最も難しい課題である、各班の活動一つ一つがこの課題につながっている  
イベント・場作りを定期的に取り組む
- (Bさん): 用途の緩和・住み方の多様化のために行政と話を進めたい
- (中川さん): その方向で進めていく積りです